

2020年10月5日

報道各位

一般社団法人日本化学工業協会

日本動物実験代替法学会 第5回 日化協 LRI 賞 受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:森川宏平(昭和電工(株)代表取締役社長)、以下「日化協」)は、このたび、研究者奨励および育成の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた業績をあげた研究者を表彰するため、日本動物実験代替法学会(会長:酒井康行、以下「JSAAE」)内に設立した日化協 LRI 賞^{※1}の第5回目の受賞者を決定いたしました。

^{※1}Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動



[受賞者] 山本 裕介 (やまもと ゆうすけ)

富士フイルム株式会社

ESG 推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター

[テーマ] Expanding the applicability of the amino acid derivative reactivity assay :

Determining a weight for preparation of test chemical solutions that yield a predictive capacity identical to the conventional method using molar concentration and demonstrating the capacity to detect sensitizers in liquid mixtures

(邦題) 皮膚感作性試験代替法 ADRA における適用範囲の拡大:重量濃度で調製した被験物質溶液を用いた試験条件の開発と疑似混合液を用いた皮膚感作性評価能力の検証

[受賞理由]

皮膚感作性試験代替法(ADRA)に関する研究を精力的に実施し、その成果により2019年6月にOECDの試験法ガイドラインに本法が採択された。企業に属しながら5報の論文の筆頭著者であるとともに直近2年間に10報もの論文発表に関与するなど、優れた学術的業績を残した。動物実験代替法の開発・実用化への貢献は大きく、今後ますますの活躍が期待される。

なお、本年度については授賞式は行わず、11月12日(木)、13日(金)にWebで開催されるJSAAE第33回大会にて受賞者の紹介が行われる予定です。

LRIは、国際化学工業協会協議会(ICCA)に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援している自主活動です。日化協では2000年よりLRIを通じた研究支援を行っています。「日化協 LRI賞」は、LRIの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して2015年に設立いたしました。JSAAEならびに日化協LRIウェブサイト公募を行い、JSAAE内学術委員会にて厳正なる審査を経て、日化協LRI賞へ推薦された候補者を日化協が承認し受賞者が決定されます。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

報道関係: 日本化学工業協会 広報部 高田 TEL:03-3297-2555

一般の方: 日本化学工業協会 LRI事務局 本多 TEL:03-3297-2575